



♪しりつすざかとしょかん♪ としょかんだより

2012
12

おはなしの会

まいしゅう土ようび ごぜん 11じより

- | | | |
|-----|--------------------------|-----------|
| 1日 | こどもクリスマス会 * 2かいこうしゅうしつにて | |
| 8日 | えほんの読みがたりなど | (キラキラぱ〜く) |
| 15日 | えほんの読みがたりなど | (あかりの会) |
| 22日 | えほんの読みがたりなど | (りんどうの会) |

ないようは
きてのおたのしみ!



としょかん1かいのえほんコーナーにて♪

☆こどもクリスマス会☆

12がつ1にち (どようび)
ごぜん11じ~

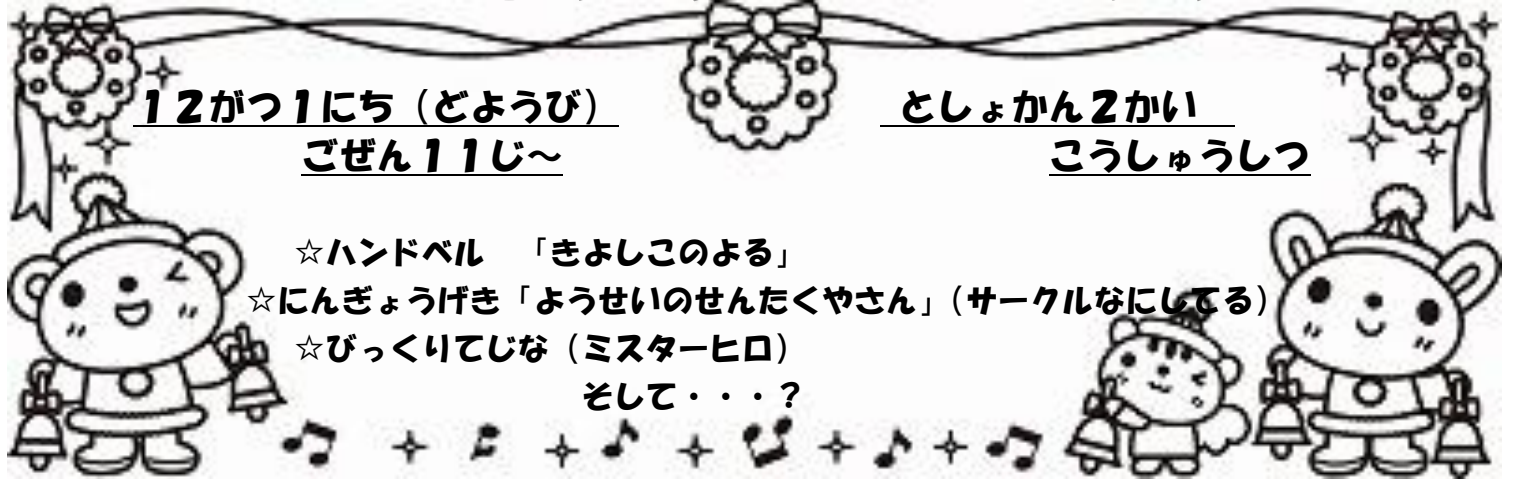
としょかん2かい
こうしゅうしつ

☆ハンドベル 「きよしこのよる」

☆にんぎょうげき「ようせいのせんたくやさん」(サークルなにしてる)

☆びっくりてじな (ミスターヒロ)

そして・・・?



クリスマスにおすすめのおはなし

- 『ちいさなもみのき』マーガレット ワイス ブラウン(Eフ)
 - 『ぐりとぐらのおきやくさま』中川李枝子(Eフ)
 - 『とのさまサンタ』本田カヨ子(Eリ)
 - 『急行「北極号」』オールズバーグ(Eカ3/8)
 - 『ドタバタ・クリスマス』スティーヴン クロール(Eユ1/37)
 - 『むらのゆうびんきょく』コリン マクリーン(Eカ)
- など...まだまだたくさんありますよ♪

ねんまつねんしのおやすみ 12/28~1/3

12月28日(金)~1月3日(木)まで

としょかんはお休みです。

お休み中に本をかえすときは、

としょかん入口の左がわにある『返却口』に

かりた本を入れてください。

* DVD、CD、ビデオは入れないでください。

来年は1月4日から開館します。



みなさん、よいおとしをおむかえください





あたららしい本^{ほん}12がっ

えほん

『クリスマスってなあに?』

もうすぐたのしいクリスマス。プレゼントえらびやおへやのかざりつけ、みんなでうたうた、そしてキリストのたんじょうのことなど、クリスマスのことがなんでものっているほん。

(ジョン・G.ピットソン^{ぶん}文・絵 こみやゆう^{やく}訳 岩波書店)

『ペチューニアのクリスマス』

ハンサムなチャールズにひとめぼれをしたガチョウのおんなのこのペチューニア。ところがかれがクリスマスのごちそうになりそうに！チャールズをすくおうとペチューニアは—。

(ロジャー・デュボワ^{ぶん}作・絵 ふしみみさを^{やく}訳 復刊ドットコム)

『おやすみなさいのおともだち』

おやすみなさいのまえには、おきにいりのえほん。おかあさんは、えほんをそっとひらいて、よみはじめました。えほんのなかには、まっしろなふゆげしき—。

(ゲオルク・ハルスレーベン^{ぶん}絵 ケイト・バンクス^{ぶん}文 ポプラ社)

『まめだぬき』

むかしむかし、あるおとこが、おやゆびのうえにのるくらいのちいさなたぬきをつかまえました。おとこはたぬきをかわいがっていましたが、あるひまちのひとにみられてしまい…。

(村上勉^{ぶん}絵 さとう^{ぶん}佐藤さとる文 フレーベル館)

じどう

『おかしなゆき ふしぎなこおり』

そろそろ、あちこちに氷^{こおり}がはり、雪^{ゆき}がふる季節^{きせつ}です。雪^{ゆき}がふったら外に出かけてみましょう。そして、あちらこちらで雪^{ゆき}や氷^{こおり}が^{そと}つくるおかしな^で形^{かたち}を探^{さが}てみましょう。

(片平孝^{ぶん}写真・文 ポプラ社)

『はじまりのはじまりのはじまりのおわり』

ほん^{ほん}だいす^{だいす}本^{ほん}が大好きなカタツムリのエイヴォン。アリのエドワードと「冒険を探するための冒険」の旅に出ました。枝の上でくりひろげられる長くて短い大冒険^{だいぼうけん}。

(アヴィ^{ぶん}作 トリシャ・トゥサ^{ぶん}画 福音館書店)

『つるばら村の魔法のパン』

つるばら^{むら}村^{まほう}のパン屋^{むら}さん^{みかづきや}『三日月屋』ももうすぐ10周年。10周年のお祝いに、くるみさんはどんなパンを作るのでしょうか？ つるばら^{むら}村^{シリーズ}とうとう^{かんけつ}完結編^{へん}。

(茂市久美子^{ぶん}作 中村悦子^{ぶん}絵 講談社)

『ラビントットと空の魚 第1話』

さかな^{さかな}そら^{そら}と^とふしぎな^{せかい}世界^{せかい}のおはなし。イワシ^{りょう}漁^{りょう}をする少年^{しょうねん}ラビントットは「大きな魚」の注文を受けてしまい—。少年漁師の冒険を描くファンタジー。

(越智典子^{ぶん}作 にしざかひろみ^{ぶん}画 福音館書店)

よみごたえのある本^{にっほん}時代もの

白狐魔記 元禄の雪

人間に変化できる不老不死のきつね、白狐魔丸のシリーズ。時は江戸時代の元禄14年。人びとは平和な世の中を楽しんでいた。だが、白狐魔丸は江戸城の方から強い邪気がただよってくるのを感じる。その直後に—。(齊藤洋著 偕成社)

仮名手本 忠臣蔵

赤穂浪士の事件ををもとにした芝居「仮名手本忠臣蔵」を物語の主人公お軽がざっくばらんにたのしく語り、ネコ一座が演じます！(竹田出雲他原作 金原瑞人翻訳 偕成社)